

ART ARCHIVES-three

Reconsidering the Archive of Art:
The Substance of Materials and the Interface

アートアーカイヴⅢ： アーカイヴ再考——資料体とインターフェイス

2013年3月23日（土）

10:00 - 15:00 [セッション・ディスカッション]

15:10 - 16:30 [Tea Talk (茶話会)]

※9:45 開場。途中、昼食休憩あり。いずれか一部だけの参加も可能です。

慶應義塾大学 三田キャンパス東館 8F ホール [定員 100名]

参加費 | シンポジウム 1,000円

| Tea Talk (茶話会) 800円

「アーカイヴ」と言う言葉を本当によく耳にするようになりました。一方で「アーカイヴ」が指示し志向するものは実に様々で、この語をめぐる状況は一層混沌としているようにも見えます。しかしながら、「アーカイヴ」が少しずつ市民権を得ようとしているのであれば、それはやはり歓迎すべきことではないでしょうか。恐らく大切なことは、ここでアーカイヴについて再考すること、いやむしろ、思考しつづけることではないでしょうか。第1回では「継承と活用:アーカイヴの「ある」ところ」、第2回では「プラットフォームの形成にむけて」をテーマとし、芸術に関わるアーカイヴの実践とそれを取り巻く相互交流の可能性やコミュニケーションの問題を取り上げてきました。最終回の今回は、これまでの議論を踏まえ、アーカイヴを構成する資料の実体と、顕在化と共有化を担うインターフェイスに着目しながら、「アーカイヴ」についてあらためて議論をしたいと思います。

| パネリスト |

泉澤茂男 [(有) トップアート鎌倉・代表取締役]

矢野 進 [世田谷美術館学芸員/美術課主査]

上崎 千 [慶應義塾大学アート・センター講師・兼任所員]

森 洋久 [国際日本文化研究センター文化資料研究企画室 准教授]

| ディスカッション・コーディネーター |

水沢 勉 [神奈川県立近代美術館館長]

| 司会/セッション・コーディネーター |

渡部 葉子 [慶應義塾大学アート・センター教授/キュレーター]

予約申込 | アート・アーカイヴ・プロジェクト (東京パブリッシングハウス内)

お問い合わせ | EMAIL symposia@art-archives.org

| TEL 03-5472-0370 / FAX 03-3433-1383

主催 | アート・アーカイヴ・プロジェクト / 東京パブリッシングハウス /

| 慶應義塾大学アート・センター / TEZEN

助成 | 特定非営利活動法人 Japan Cultural Research Institute

www.art-archives.org

